

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【公開番号】特開2015-226780(P2015-226780A)

【公開日】平成27年12月17日(2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-079

【出願番号】特願2015-111595(P2015-111595)

【国際特許分類】

A 4 7 J 27/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 27/00 1 0 9 L

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

携帯真空調理装置において無線で機械可読コードを受信するステップと、
前記携帯真空調理装置においてプロセッサにより前記機械可読コードの変換から 1 以上の調理属性を取得するステップと、
前記携帯真空調理装置において前記 1 以上の調理属性に基づいて温度および調理時間を決定するステップと、
前記携帯真空調理装置のヒータおよび攪拌装置を自動的に作動させて容器内の水を前記温度まで加熱するステップと、
前記調理時間および前記温度が安全範囲の閾値外であればそれらが危険な調理時間および温度である旨の通知を前記携帯真空調理装置の表示装置に表示するステップと、
を備える方法。

【請求項 2】

前記携帯真空調理装置において補充調理属性を受信するステップと、
前記携帯真空調理装置において調理加減レベルを受信するステップと、
前記携帯真空調理装置において前記 1 以上の調理属性と、前記補充調理属性と、前記調理加減レベルとに基づいて新たな温度および新たな調理時間を決定するステップと、
前記新たな温度および前記新たな調理時間に応じて前記携帯真空調理装置を設定し、前記設定は、前記携帯真空調理装置の前記ヒータおよび前記攪拌装置を作動させることを含むステップと、
をさらに備える請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記新たな調理時間および前記新たな温度が安全範囲の閾値外であればそれらが危険な調理時間および温度である旨の通知を前記携帯真空調理装置の前記表示装置に表示するステップ
をさらに備える請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記機械可読コードは Q R コードである
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記機械可読コードは三次元バーコードである
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記調理時間および前記温度を前記携帯真空調理装置の前記表示装置に表示するステップ
をさらに備える請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記機械可読コードは前記携帯真空調理装置の外部装置から受信される
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

プロセッサと、メモリと、表示装置と、加熱素子と、光学読取装置と、攪拌装置とを
備え、
前記メモリは前記プロセッサと結合され、前記メモリから前記プロセッサに指令を
供給可能に構成され、該指令を実行することで前記プロセッサが
前記光学読取装置を介して機械可読コードを読み取り、
前記機械可読コードを 1 以上の調理属性に変換し、
前記 1 以上の調理属性に基づいて温度と、速度と、調理時間とを決定し、
前記加熱素子を前記決定された温度に、前記攪拌装置を容器内の水を前記温度まで加
熱するための前記決定された速度に、前記表示装置を前記決定された調理時間に自動的に
制御する
携帯真空調理装置。

【請求項 9】

前記メモリから前記プロセッサにさらに指令を供給可能に構成され、該指令を実行す
ることで前記プロセッサが
補充調理属性と調理加減レベルを受信し、
前記 1 以上の調理属性と、前記補充調理属性と、前記調理加減レベルとに基づいて新
たな温度および新たな調理時間を決定し、
前記加熱素子に前記新たな温度を、
前記攪拌装置に前記容器内の水を前記新たな温度まで加熱するための前記新たな速
度を、
前記表示装置に前記新たな調理時間を
設定する

請求項 8 に記載の携帯真空調理装置。

【請求項 10】

前記メモリから前記プロセッサにさらに指令を供給可能に構成され、該指令を実行す
ることで前記プロセッサが
前記新たな調理時間および前記新たな温度が安全範囲の閾値外であればそれらが危険
な調理時間および温度である旨の通知を前記表示装置に表示する
請求項 9 に記載の携帯真空調理装置。

【請求項 11】

前記メモリから前記プロセッサにさらに指令を供給可能に構成され、該指令を実行す
ることで前記プロセッサが
前記調理時間および前記温度が安全範囲の閾値外であればそれらが危険な調理時間お
よび温度である旨の通知を前記表示装置に表示する
請求項 8 に記載の携帯真空調理装置。

【請求項 12】

前記機械可読コードは QR コードである
請求項 8 に記載の携帯真空調理装置。

【請求項 13】

前記機械可読コードは三次元バーコードである

請求項 8 に記載の携帯真空調理装置。

【請求項 14】

前記メモリから前記プロセッサにさらに指令を供給可能に構成され、該指令を実行することで前記プロセッサが

前記調理時間および前記温度を前記表示装置に表示する

請求項 8 に記載の携帯真空調理装置。

【請求項 15】

プロセッサと、メモリと、表示装置と、加熱素子と、無線受信装置と、攪拌装置と、容器の水に少なくとも部分的に浸水するように構成されたハウジングと、を備え、

前記メモリは前記プロセッサと結合され、前記プロセッサに指令を供給可能に構成され、該指令を実行することで前記プロセッサが

前記無線受信装置を介して機械可読コードを受信し、

前記機械可読コードを 1 以上の調理属性に変換し、

前記 1 以上の調理属性に基づいて温度と、速度と、調理時間とを決定し、

前記加熱素子に前記温度を、前記攪拌装置に前記容器内の前記水を前記温度まで加熱するための前記速度を、前記表示装置に前記調理時間を自動的に設定し、

前記調理時間および前記温度が安全範囲の閾値外であればそれらが危険な調理時間および温度である旨の通知を前記表示装置に表示する

携帯真空調理システム。

【請求項 16】

前記機械可読コードは前記携帯真空調理システムの外部装置から受信される

請求項 15 に記載の携帯真空調理システム。

【請求項 17】

プロセッサと、

前記プロセッサと結合された表示装置と、

指令を格納するメモリと、

入力を無線で受信する無線受信装置と、

加熱素子と、

攪拌装置と、

を備え、

前記プロセッサは、前記メモリ、前記無線受信装置、前記加熱素子および前記攪拌装置と結合され、前記プロセッサは、前記メモリに格納された前記指令にアクセス可能に構成され、該指令を実行することで前記プロセッサが、

前記無線受信装置で受信した機械可読コードの変換を含む入力から取得される調理属性に基づいて調理時間および温度を設定し、

前記無線受信装置から補充調理属性を受信し、前記補充調理属性は新たな温度を含み

、

前記補充調理属性の受信に応じて、前記設定した温度を前記新たな温度に変更し、

前記加熱素子を前記新たな温度まで自動的に作動させ、

新たな調理時間を自動的に設定し、

前記容器内の前記水を前記新たな温度まで加熱するための前記攪拌装置の速度を調節し、

前記新たな調理時間および前記新たな温度が安全範囲の閾値外であればそれらが危険な調理時間および温度である旨の通知を前記携帯真空調理装置の前記表示装置に表示する

携帯真空調理装置。

【請求項 18】

前記プロセッサはさらに、前記メモリに格納された前記指令の実行の際、

前記表示装置を制御して前記新たな調理時間を表示する

請求項 17 に記載の携帯真空調理装置。

【請求項 19】

携帯真空調理装置において無線で機械可読コードを受信するステップと、

前記携帯真空調理装置においてプロセッサにより前記機械可読コードの変換から 1 以上の調理属性を取得するステップと、

前記携帯真空調理装置において前記 1 以上の調理属性に基づいて温度および調理時間を決定するステップと、

前記携帯真空調理装置のヒータおよび攪拌装置を自動的に作動させて容器内の水を前記温度まで加熱するステップと、

前記携帯真空調理装置において補充調理属性を受信するステップと、

前記携帯真空調理装置において調理加減レベルを受信するステップと、

前記携帯真空調理装置において前記 1 以上の調理属性と、前記補充調理属性と、前記調理加減レベルとに基づいて新たな温度および新たな調理時間を決定するステップと、

前記新たな温度および前記新たな調理時間に応じて前記携帯真空調理装置を設定し、前記設定は、前記携帯真空調理装置の前記ヒータおよび前記攪拌装置を作動させることを含むステップと、

前記新たな調理時間および前記新たな温度が安全範囲の閾値外であればそれらが危険な調理時間および温度である旨の通知を前記携帯真空調理装置の表示装置に表示するステップと、

を備える方法。